

# 第61期 株主通信

2024.10.1 ▶▶ 2025.9.30

売上高・営業利益ともに過去最高を更新。

女性の健康課題と増大する医療費という社会課題解決への挑戦を続け、さらなる事業成長を実現します。



代表取締役社長 森田 周平

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。当社は「女性医療」と「バイオシミラー」を軸に、現在の日本が抱える社会課題解決にフォーカスし成長を続ける、製薬企業です。新薬を中心とした新たな価値の提供による女性特有の健康課題を解決することで、女性を取り巻くすべての方々のwell-beingを実感できる社会の実現、バイオシミラーにより増大する医療費の適正化に取り組んでいます。

2025年9月期は、中期経営計画の初年度として順調なスタートを切ることができました。女性医療・バイオシミラー・

グローバルCMOの3つの成長戦略が着実に伸長し、売上高は516億77百万円(前期比12.0%増)、営業利益は49億90百万円(前期比28.6%増)となり、売上、利益ともに過去最高を更新し、二桁成長を達成しました。新製品の販売拡大に加え、製品ミックスの改善による粗利益率向上が利益成長を後押ししました。

女性医療では、更年期障害治療剤「エフメノ®カプセル」や経口避妊剤などの主力品が堅調に推移しました。2024年12月に発売した月経困難症治療剤「アリッサ®配合錠」は、発売当初こそ想定よりゆるやかな立ち上がりでしたが、処方現場での評価が高まり、第4四半期には処方数も確実に増加しており、2025年12月1日に迎えた処方制限解除を契機に、今後は一層の市場浸透を図ってまいります。

バイオシミラー事業では、既存2製品に加え、2025年9月に承認を取得した3製品の上市に向けた準備を進めています。医療費適正化という社会課題の解決への貢献が期待されるバイオシミラーにおいて、当社は国内企業最多の豊富な製品ラインナップを揃えています。安定供給を確保し、市場からの信用を高めることで、今後さらに当社の強みとなる事業へと成長させていきます。

グローバルCMO事業も安定的に推移しており、グループ会社OLICを含めた生産体制の強化、生産技術の獲得を通じて、将来の成長基盤をさらに強化していきます。

2026年9月期は、女性医療・バイオシミラーが引き続き拡大することを予想しており、売上高は574億90百万円(前期

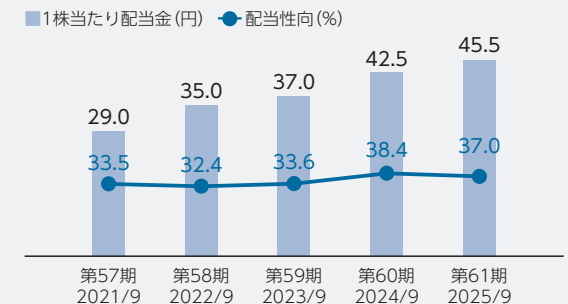
比11.2%増)、営業利益は55億20百万円(前期比10.6%増)と、ともに二桁成長を維持、過去最高を更新する見込みです。

株主還元については、累進配当と配当性向30%以上を基本方針とし、2025年9月期の年間配当金を1株当たり45.5円としました。2026年9月期は47.0円を予想しています。将来を見据えた成長投資と株主還元の両立を図りながら、安定的・継続的な増配を目指します。

当社は、社会課題解決に直結する領域にフォーカスし、果敢に挑戦することで、企業価値のさらなる向上を実現してまいります。今後とも長期的な視点で、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 株主還元について

当社は累進配当政策を基本方針とし、成長投資・財務健全性とのバランスを考慮し、税引き後営業利益ベース配当性向30%を維持します。



# わたしたちの想い

詳細はこちらからご確認ください。  
<https://www.fujjpharma.jp/company/policy/>



旧薬事法が制定、戦後の復興が進む1954年、故今井精一が富士薬品商會を創業、医薬品の販売を開始したことが当社のはじまりです。挑戦と学びを通じ社会に役立つことを大切にしていた今井は、多くの人が学び、成長し、社会に貢献し、関係する人々の幸せの輪を広げていきたいという想いで1965年、富士製薬工業株式会社を設立しました。当社はその想いである「成長」と「貢献」をキーワードとした経営理念を大切に、誰もがwell-beingを実感できる社会へ挑戦を続けます。

## 経営理念

優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する  
富士製薬工業の成長は、わたしたちの成長に正比例する

## 女性医療への想い

今井は、創業時から、多くの人が必要としながらも支援の行き届いていない分野に貢献したいと思っていました。ホルモン剤など製造管理が難しく、参入障壁の高い領域で事業を継続してきました。当社だから可能な提供価値に拘ってきた結果、現在では産婦人科医との強固な信頼関係が構築され、当社の特徴、強みとなっています。

## 長期ビジョン、中期経営計画

経営理念の実践を通じて、わたしたちが10年後に到達したい「ありたい姿」として、長期ビジョン2035を策定しました。

半世紀以上にわたり、注力事業として取り組んできた女性医療は、わたしたちの「成長と貢献」の象徴です。これまで以上に集中し、新たな価値を提供し続けることで世界中の女性の健康課題解決、すべての人々のwell-being向上に向けて、さらなる挑戦を続けます。

### 長期ビジョン2035

女性医療で新たな価値を創出し続け、  
誰もがwell-beingを実感できる社会へ貢献する

### 中期経営計画 (2025年9月期～2029年9月期)

#### 成長ドライバー

中期		長期	
女性領域での 貢献拡大	バイオシミラー 事業の成長	グローバルCMO 事業の成長	次の成長に向けた 戦略投資

#### 経営基盤の強化

人財の強化	組織機能の高度化	デジタルの推進
-------	----------	---------

# わたしたちの事業

詳細はこちらからご確認ください。  
<https://www.fujjpharma.jp/company/overview/#anchor01>



当社は、約半世紀、女性医療に注力してきた会社です。思春期、性成熟期、更年期、老年期など、女性の生涯に寄り添う医薬品を多数手がけてきました。近年、女性の健康課題が社会課題として注目され、当社が培ってきた知見や取り組みの重要性は高まっています。

また、増大する医療費の適正化において期待されているバイオシミラーにも注力し、幅広く社会のニーズに応える医薬品を届けています。



## 女性医療

月経困難症や更年期障害、不妊症などに対応するホルモン剤<sup>※1</sup>などの治療薬を中心とした女性のライフステージに寄り添う高品質な医薬品を提供し、女性のwell-being向上に貢献しています。半世紀以上にわたる女性医療分野での開発・製造・販売の経験、専任MR<sup>※2</sup>による情報提供などにより、本領域で高い専門性と信頼を築いています。



## バイオシミラー (バイオ後続品、BS)

バイオシミラーとは、先行バイオ医薬品<sup>※3</sup>と同等／同質の品質・有効性がある後続品。バイオシミラーの提供は患者様負担軽減、病院経営への貢献などに繋がり、医薬品へのアクセス向上と医療経済に貢献しています。BS事業としては10年以上にわたる開発、製造、販売経験を有しており、Alvotech社との提携を通じて2025年9月には3製品の承認取得、現在国内最大の製造販売承認数を保持しています。



## グローバルCMO<sup>※</sup>

タイのグループ会社OLIC社および富山工場を拠点に、国内外の製薬企業向けに医薬品の受託製造を行っています。注射剤やホルモン剤など製造難易度の高い製品にも対応、安定供給と高品質を両立し、グローバル市場での信頼性の高い製造パートナーとしてだけでなく、近年では開発機能を加え事業の拡大をしています。

※ CMO: Contract Manufacturing Organization  
医薬品製造受託機関



## 次の成長に向けた成長戦略

これまでの当社の新薬は、成功確度の高い国内での未承認薬や海外における開発の後期品目を中心に開発、承継品の獲得によって製品ラインナップ拡充を進めてきました。その結果、安定的なポートフォリオを構築し、月経困難症ではベストインクラスの新薬を保有しておりますが、さらに貢献を拡大していくため、女性医療におけるニーズの収集・シーズの探索能力を高め、より開発早期段階のシーズ選定、開発パイプライン化が重要と考えています。

### 用語集

#### ※1 ホルモン剤

少量でも人体に大きな影響を与えることから、製造には特殊な設備と専門的な技術が求められる製剤で、製薬業界の中でも参入障壁が高い領域とされています。

#### ※2 MR

医薬情報担当者の略称で、医薬品の適正使用ならびに薬物療法の向上に貢献するために、医薬品の品質・有効性・安全性等の情報活動を行う医薬品情報の専門家です。

#### ※3 バイオ医薬品

バイオテクノロジー（遺伝子組換え技術や細胞培養技術）を用いて創製される医薬品で、有効性が高く、適用できる疾患領域が広い一方、開発、製造が難しくコストが高いなどの特徴があります。

# 財務ハイライト

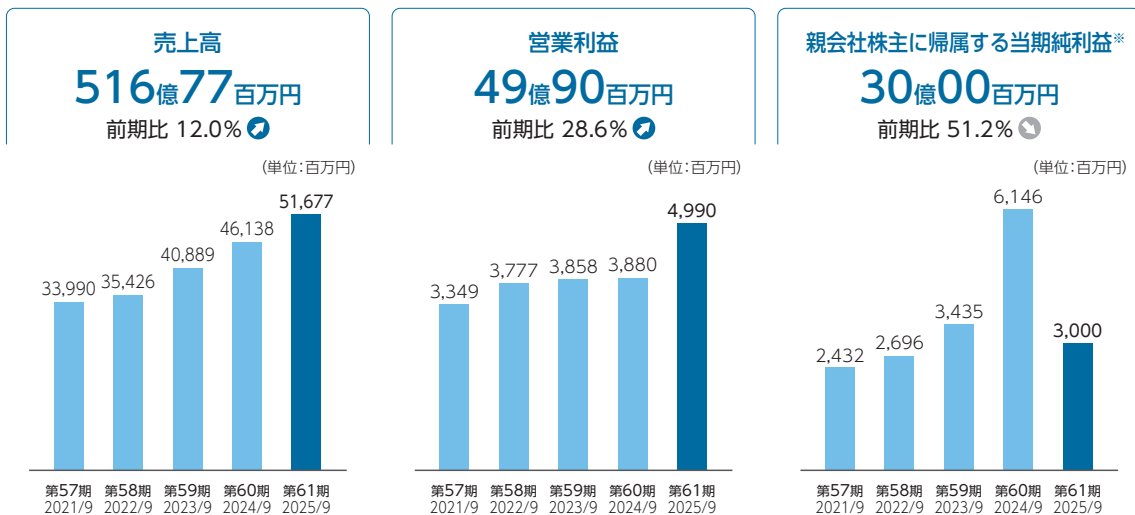
詳細はこちらからご確認ください。  
<https://www.fujipharma.jp/ir/highlight/>



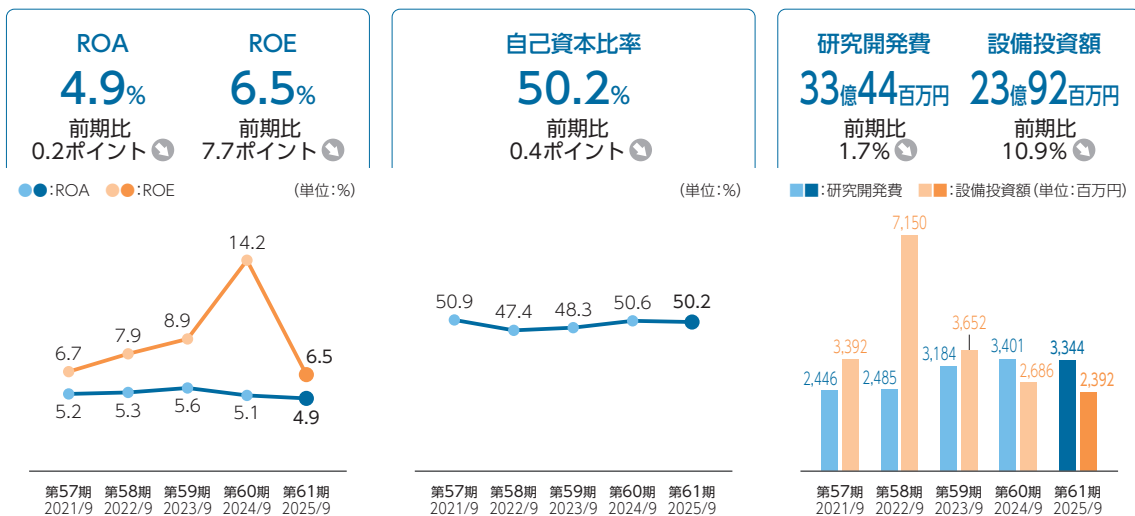
# 事業トピックス

## POINT

- 中期経営計画1年目は女性医療・バイオシミラーなどが貢献し、順調な滑り出し
- 売上高・営業利益ともに二桁成長し、過去最高を記録
- 営業利益は28.6%増加し、新製品・承継品の販売拡大、製品ミックスによる粗利率の改善が利益成長を後押し



※ 2022年9月期より会計基準を変更しております。  
 ※ 第61期は、第60期に計上した一過性収益(デリバティブ評価益765百万円および有価証券売却益等の特別利益3,953百万円)が発生していません。



## アリッサ発売およびOLICでの適応追加

2024年12月、月経困難症治療剤として「アリッサ®配合錠」の販売を開始しています。本剤は、日本で初めて天然型エストロゲンのエストロール(E4)を含有する製品です。エストロール(E4)は、エストロゲンの受容体に選択的に作用する特徴的な作用機序がある\*1ことから、臨床においても高い関心が寄せられている成分です。



2024年3月、内閣府の男女共同参画局が実施した調査結果\*2によると、月経のある女性のうち約73%の方が月経痛により生活への支障があると回答しています。世界に目を向けても、月経困難症は女性の日常生活に支障をきたしている重要な健康課題になっています。グループ会社OLICは2025年11月、タイにおけるNextstellis™の適応症である避妊に加えて、月経困難症の適応追加の承認を取得いたしました。Nextstellis™はアリッサ配合剤と同成分の医薬品です。当社グループは日本にとどまらず、より多くの女性たちが、毎日をもっと健やかにいきいきと過ごすことができるよう貢献してまいります。

\*1 NEST…Native estrogen with selective action in tissues  
 \*2 内閣府 男女共同参画局「令和5年度 男女の健康意識に関する調査報告書」(2024年3月)

## バイオシミラー3製品の承認取得

2025年9月19日、当社はバイオシミラー3製品の製造販売承認を取得いたしました。当社は2018年11月にAlvotech社(本社:アイスランド)とパートナーシップを締結しており、今回承認された3製品は同社パイプラインの製品です。この承認取得により、当社は国内トップの製造販売承認数を有することになりました。政府は近年、バイオシミラー普及を推進していますが、バイオ医薬品は構造が複雑であり、それに対応できる設備や技術の確保は容易ではありません。そのため、バイオシミラーを販売している企業や国内で生産する機能を持つ企業は依然として限られています。こうした状況下で、当社は今後もラインナップの拡充を進め、市場に最も早く、もしくは競合他社に遅れることなく、高品質なバイオシミラーを患者さま、医療現場にいち早くお届けできるよう取り組んでまいります。

## 株式の状況 (2025年9月30日時点)

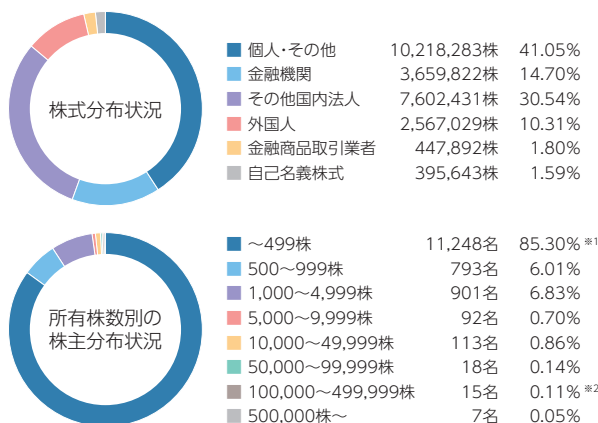
発行可能株式総数	56,440,000株
発行済株式の総数	24,891,100株
株主数	13,187名

## 大株主(上位10名) (2025年9月30日時点)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社FJP	4,307,000	17.58
今井 博文	3,052,750	12.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,159,100	8.81
新井 規子	1,240,000	5.06
Lotus Japan Holdings合同会社	1,219,300	4.98
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,046,222	4.27
株式会社Yamhill Sciences	1,000,000	4.08
今井 道子	446,000	1.82
公益財団法人今井精一記念財団	400,000	1.63
富士製薬工業株式会社 従業員持株会	372,880	1.52

(注)1.当社は、自己株式395,643株(発行済株式総数の1.59%)を所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。また、上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
2.上記ほか、役員向け株式交付信託の信託財産として、三井住友信託銀行株式会社が40,222株保有しています。なお、当該株式は連結貸借対照表において自己株式として処理しております。

## 分布状況 (2025年9月30日時点)



\*1 「1単元以上5単元未満株主数+単元未満株のみ所有株主」⇒8,846+2,402=11,248

\*2 「1,000単元以上5,000単元未満株主数」+「自己名義株式(株式数:395,643)株主数」⇒14+1=15

## 会社概要 (2025年9月30日時点)

社名	富士製薬工業株式会社		
英文社名	Fuji Pharma Co., Ltd.		
主な事業内容	医療用医薬品の開発・製造・販売		
本社所在地	〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地7		
設立年月	1965年4月		
資本金	39億451万7,005円		
従業員数	連結1,760名 (富士製薬工業:969名、OLIC:791名) (2025年9月30日現在)		

## 役員 (2025年12月19日時点)

代表取締役会長	岩井 孝之	取締役(社外)	小澤 実
代表取締役社長	森田 周平	取締役(社外)	平野 清久
取締役 副社長	上出 豊幸	取締役(社外)	小島 玲子
取締役 副社長	鈴木 聡	常勤監査役	尾島 大司
取締役(社外)	平井 敬二	監査役(社外)	三村 藤明
取締役(社外)	木山 啓子	監査役(社外)	相良 美織

## 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会:毎年9月30日 期末配当金:毎年9月30日 中間配当金:毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) <a href="https://www.fujipharma.jp/ir/announce/">https://www.fujipharma.jp/ir/announce/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由がある場合には、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話照会先 ☎0120-782-031 ホームページ <a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 プライム市場

## 株主さまアンケートご協力をお願い



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 4554

……………以下の方法でもアンケートにアクセスできます……………



検索窓から



ご回答いただいた方の中から抽選で **薄謝 (QUOカードPay500円)** を進呈させていただきます

アンケート実施期間は、株主通信が当社WEBサイトに公開されてから約2か月間です

株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解をいただきますとともに、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます

本アンケートは、株式会社リンクソシールの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。<https://www.link-ss.co.jp/>  
アンケートのお問い合わせ:「e-株主リサーチ事務局」MAIL [info@e-kabunushi.com](mailto:info@e-kabunushi.com)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。